

「2026年全国そろばんコンクール秋田地区大会」実施要項

秋田珠算連盟

日本珠算連盟では、全国各地の幼児から社会人までの珠算学習者に目標を与え、意欲を高めさせ、そろばん学習により得られる“そろばん能力”の向上を図るため、2001年(平成13年)より「全国そろばんコンクール」を開催しています。

つきましては、秋田珠算連盟会員の生徒のそろばん技術の普及向上に努めるとともに、珠算人口拡大のため連盟のPRの場、さらに参加選手や指導者の交流の場として本コンクールを開催します。

1. 主 催 者

(一社) 日本珠算連盟・秋田珠算連盟

2. 後 援

日本商工会議所・秋田商工会議所

3. 実施期日

・団体・個人競技・種目別競技：2026年11月23日(祝・月) 9時30分～16時00分(予定)

※会場不参加者については、総合競技のみ2026年11月13日(金)～11月22日(日)の間で各塾において実施可能

※塾で実施した答案は、採点して11月25日(水)までに事務局へ持参してください。

4. 実施会場

・団体・個人競技・種目別競技：秋田県生涯学習センター3階 講堂

・会場不参加のみ総合競技は：塾・教室で対応

5. 参加資格

秋田珠算連盟会員生徒

6. 参加部門

部門は、①小学校1年生以下の部 ②小学校2年生の部 ③小学校3年生の部、
④小学校4年生の部 ⑤小学校5年生の部 ⑥小学校6年生の部、
⑦中学校1年生の部 ⑧中学校2年生の部 ⑨中学校3年生の部
⑩高校生の部 ⑪一般の部 の11部門とする。

7. 参 加 料

1,500円(団体・個人競技のみ参加の場合は600円)

8. 参加申込

連盟会員は、別紙の申込用紙に所要の事項を記入し、参加料とともに事務局に郵送、または持参のこと。(申込責任者、連絡先を必ず記載のこと)原則として、申込後の選手の変更は認めません。

※団体・個人競技のみ参加することが可能です。

※種目別競技だけのお申込みはできません。必ず団体・個人競技もお申込みください。

9. 申込締切日 2026年10月23日(金) 厳守

10. 個人情報の第三者への提供

本コンクール参加者については、コンクール施行にあたり所属組織(学校、教室等)の名称、個人名、学年・年齢等の連絡先情報について、コンクールの成績優秀者を「成績一覧表」として関係者等へ配布のほか、WEBページおよび各種機関紙(誌)(機関誌：『日本珠算』等)への掲載、放送局、新聞社への情報提供等のために利用することがあります。この個人情報の第三者への提供を望まない場合は、事務局までご連絡ください。

1 1. 実施規定

競技は、団体、個人競技、読上算競技、読上暗算競技、フラッシュ暗算競技とする。

1 2. 実施方法

- ① 競技は、各部門とも、かけ算、わり算、みとり暗算、みとり算の4種目とし、各種目ごとに制限時間を示した問題により行い、その合計得点をもって高点者より順位を決める。

ただし、総得点において同点の場合は原則として同順位とするが、各部門とも1位を決定するときは、全国一決定審査用問題によって決勝を行う。

- ② 読上算競技は、2桁10口（10級）より開始して順次問題レベルをあげて部門毎の優勝者を決定する。
- ③ 読上暗算競技は、1桁5口（10級）より開始して順次問題レベルをあげて部門毎の優勝者を決定する。
- ④ フラッシュ暗算競技は、10級より開始して順次問題レベルをあげて部門毎の優勝者を決定する。

1 3. 問題の程度（競技の種目、程度は3頁参照）

問題はすべて整数の無名数とし、各部門とも同一制限時間とし、各種目とも300点満点とする。

1 4. 実施上の注意事項

(1) 全般的な注意

- ① 計算用意の合図があるまでは、そろばんを机の左側に縦におくこと。
- ② 問題用紙が配られても、合図があるまではそのまま机の上におき、両手は膝の上におくこと。
- ③ 答案には参加番号を記入し、氏名は書かないこと。
- ④ 合図によって参加番号を記入し、両手は膝の上におくこと。
- ⑤ 声を出して数を読みながら計算しないこと。
- ⑥ 計算開始および終了は、すべて「競技委員の合図」によること。
- ⑦ 終了の合図によって計算または答えの記入をただちに止め、答案を裏返して両手は膝の上におくこと。
- ⑧ アラーム時計を使用するときは音を出さないようにすること。
- ⑨ そろばんの種目であってもそろばんを使用しないで、暗算で計算してもよい。

(2) 答案記入上の注意

- ① 答えは、定められた欄の中にはっきり書くこと。（訂正した場合を除く）
- ② 答えには3位ごとにコンマ（,）をつけること。ただし、「小学校4年生の部」以下は、コンマをつけなくてもよい。（コンマの位置が違う場合は不正解とする）
- ③ 答えを書き直す場合は、その答えの全部を横線で消して書き直すこと。（消しゴムの使用は禁止）
- ④ 答えを書き直す場合、定められた欄の中に書けないときには欄外に書いて、答えの頭にその問題の番号を○または（ ）でかこむか、その欄またはその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- ⑤ 答えを縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- ⑥ 答えを二つ以上書いたりしないこと。

(3) 採点上の注意

原則として交換採点とする。（参加状況によっては引き上げ採点もあり）

1 5. 表彰

(1) 団体競技

小中学校の部門には、個人競技の高点を得た者3名の総得点により順位を決めるが、総得点が同

点の場合は種目別の合計点を通じて低点の数の少ない団体を上位とする。

小中学校の学校単位による優勝に対して、賞状およびカップを授与する。

※2位以下若干名に賞状と賞品

(2) 個人競技

各部門の優勝者に対して、賞状およびトロフィー（渡し切り）を授与する。

※2位以下若干名に賞状

(3) 種目別競技

各部門の優勝者に対して、賞状およびトロフィー（渡し切り）を授与する。

※参加者には、金賞（参加申込数の30%目安）、銀賞（参加申込数の30%目安）、

銅賞（残り全員）とわけてカードと賞状を授与する。（各賞とも人数の端数は切り上げ）

※団体・個人競技のトロフィーとカードと賞状および成績表は、後日お渡しいたします。

※種目別競技のトロフィーは開催当日（11/23）に、成績表と賞状は後日お渡しいたします。

全国そろばんコンクール競技問題の程度

《かけ算・わり算》 ◎ 題数60題（1題5点） 制限時間10分

No.	題数	か け 算	わ り 算
1 番～5 番	5 題	2 桁 × 1 桁	÷ 1 桁 = 2 桁
6 番～10 番	5 題	3 桁 × 1 桁	÷ 1 桁 = 3 桁
11 番～15 番	5 題	2 桁 × 2 桁	÷ 2 桁 = 2 桁
16 番～20 番	5 題	3 桁 × 2 桁	÷ 2 桁 = 3 桁
21 番～25 番	5 題	3 桁 × 3 桁	÷ 3 桁 = 3 桁
26 番～30 番	5 題	4 桁 × 3 桁	÷ 3 桁 = 4 桁
31 番～35 番	5 題	4 桁 × 4 桁	÷ 4 桁 = 4 桁
36 番～40 番	5 題	5 桁 × 4 桁	÷ 4 桁 = 5 桁
41 番～50 番	10 題	5 桁 × 5 桁	÷ 5 桁 = 5 桁
51 番～60 番	10 題	6 桁 × 5 桁	÷ 5 桁 = 6 桁

《みとり暗算》 ◎ 題数30題（1題10点） 制限時間3分 【加減を含む】

No.	題数	桁 数	口 数	字 数
1 番～2 番	2 題	1 桁（検定7級）	5 口	5 字
3 番～5 番	3 題	1～2桁（検定6級）	5 口	6 字
6 番～7 番	2 題	1～2桁（検定5級）	5 口	8 字
8 番～10 番	3 題	2 桁（検定4級）	5 口	10 字
11 番～12 番	2 題	3 桁（検定3級）	5 口	15 字
13 番～15 番	3 題	3 桁（検定2級）	7 口	21 字
16 番～17 番	2 題	3 桁（検定1級）	10 口	30 字
18 番～20 番	3 題	4 桁	10 口	40 字
21 番～22 番	2 題	〃	〃	〃
23 番～25 番	3 題	5 桁	10 口	50 字
26 番～27 番	2 題	〃	〃	〃
28 番～30 番	3 題	6 桁（段位検定）	10 口	60 字

《みとり算》 ◎ 題数30題（1題10点） 制限時間10分 【加減を含む】

No.	題数	桁 数	口 数	字 数
1 番	1 題	2 桁 (検定 9/10級)	5 口	10 字
2 番～3 番	2 題	2 桁 (検定 8 級)	8 口	16 字
4 番～5 番	2 題	2 桁 (検定 7 級)	10 口	20 字
6 番～7 番	2 題	3 桁 (検定 6 級)	10 口	30 字
8 番～10番	3 題	4 桁 (検定 5 級)	10 口	40 字
11番～12番	2 題	5 桁 (検定 4 級)	10 口	50 字
13番～15番	3 題	6 桁 (検定 3 級)	10 口	60 字
16番～17番	2 題	7 桁	10 口	70 字
18番～20番	3 題	8 桁 (検定 2 級)	10 口	80 字
21番～22番	2 題	9 桁	10 口	90 字
23番～25番	3 題	10 桁 (検定 1 級)	10 口	100 字
26番～27番	2 題	11 桁	10 口	110 字
28番～30番	3 題	12 桁	10 口	120 字

16. その他

本コンクールは、状況により開催内容等を変更する場合があります。